

都市再生整備計画(第6回変更)

たかはま
高浜地区

石川県 しかまち
志賀町

平成22年3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	いしかわけん 石川県	市町村名	しかまち 志賀町	地区名	たかはまち 高浜地区	面積	176.9 ha
計画期間	平成	17 年度 ~ 平成	21 年度	交付期間	平成	17 年度 ~ 平成	21 年度

目標： 既存の幹線道路や公共施設を有効に活かしながら、安心、快適に暮らすことができる居住環境を整え、定住が促進される市街地の再生を目指す。

- ① 高浜地区の定住促進を図る。
- ② 安心、快適な暮らしの基盤を整える。
- ③ 既存施設の活用促進に努める。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

高浜地区は、於古川、米町川の河口部で日本海に面した漁村集落の面影を残す密集市街地の周囲に、行政・福祉・文化・教育などの拠点施設が集積立地された旧志賀町の中心市街地を形成する地区であり、旧町人口の約26%にあたる約4,000人の住民が生活を営んでいる。用途地域の指定はされていないものの、比較的コンパクトにまとまりある市街地を形成し、美しい海岸線の風景を背景に、志賀原子力発電所の立地に伴う国の支援策なども受けながら、これまで道路や学校、福祉施設、バスターミナルなどの公共施設の整備が進められてきた。

しかし、密集市街地内における生活基盤整備の遅れなどから、人口の他都市や郊外への流出傾向には歯止めがかからず、少子高齢化の時代の流れの中で、中心市街地の活力低下と空洞化の進展が深刻な問題として表面化しつつある。例えば、商店街の賑いは、国道沿いの新しい商業ゾーンへシフトし、ショッピングの楽しみや人のふれあいの場がまちなかから失われてきている。

平成17年9月には隣接する富来町と合併して新しい志賀町が誕生し、本庁舎が置かれた高浜地区は、新町の核となる中心市街地を形成することとなり、その都市基盤の充実と居住環境の向上が急務となっている。とりわけ新町の顔となるべき当該地区はかつての漁師街であり、道路網が狭く入り組んでいるため、車社会に適合していない。そのため、これを逆手にとった魅力づくりを模索してきたところである。

また、平成16年4月には、高浜市街地に隣接して「道の駅 ころ柿の里 しか」「アクアパーク シンオン」「志賀町児童館」など、町の主要な公共施設が次々とオープンし、これらをはじめとする施設の活用促進を図る上で、中心市街地部との連携を強化し、現在、街路事業が進められている都市計画道路 福野・神代線の整備とあわせて、一体的、総合的なまちづくりの推進が期待されている。

このような背景の中で、平成15年度より地域住民と行政が一体となって、高浜市街地の活性化と快適で住み良いまちづくりを進めることを目的に「高浜地区まちづくり協議会」を設立し、地元住民の立場から地域が抱える問題点や将来的なまちづくりに対する意見、要望を出し合い、これらを踏まえた計画づくりに取り組んでいる。また、「新町まちづくり計画」の策定にあたって住民アンケートを実施しており、その結果として、豊かな自然環境、景観の保全とともに、生活道路の安全性、快適性の向上、交通便利性の向上などが住民のニーズとして高いことが得られている。さらに「志賀町総合計画」の策定(平成19年3月)にあたって実施された住民アンケートでは、若い世代の人口減少を背景に「若者の定住促進」が最重要課題として浮上ってきている。

課題

① 市街地における定住促進（魅力ある定住環境の創出）

高浜地区の人口は年々減少傾向(10年前に比べて約9%減少)にあり、中心市街地としての活力を維持するために定住促進に努める必要がある。特に、まちなかで目立つ空屋については、防犯上の問題や建物倒壊の危険性がある他、土地利用の更新を妨げる要因にもなっており、主に高齢者層の定住促進に向けて、空地も含めて土地の有効利用を促進していく必要がある。また、市街地に居住する魅力が実感できるように市街地内の環境を改善していく必要がある。一方、若年層に対しては、新しいライフスタイルに対応し、工業団地への町外からの勤務者や企業誘致を積極的に推進し、雇用促進を図るための居住環境を整える必要がある。

② 安心、快適な暮らしを支える生活基盤及び広域防災拠点の整備（密集市街地の環境改善と広域防災体制の強化）

まちなかでは車のすれ違いも困難な狭小幅員道路が多い中で木造住宅が密集し、通学する児童・生徒やまち歩きも地域住民の交通安全面や、火災による延焼の危険性など防災面でも問題を有していることから、バリアフリーにも配慮しつつ、安心して暮らすことができるような生活基盤の改善を図っていく必要がある。また、冬期積雪時においても通行確保のために、主要な通学路には、消雪設備の整備を図っていく必要がある。さらには、志賀消防署の移転を核として、広域的な消防、防災機能の強化に向けた新たな防災拠点づくりが必要である。

③ 既存施設の有効活用（中心市街地との連携強化）

文化ゾーンに集積立地する総合公園や文化ホール、図書館、児童館などの公共施設や、平成16年4月にオープンした「道の駅 ころ柿の里 しか」「アクアパーク シンオン」などの充実した施設を地域住民に有効に活用してもらうため、これらの施設と中心市街地との連携強化に向けて、都市計画道路 福野神代線(今市橋)の整備、まち歩きネットワークの構築などに努めていく必要がある。特に、主要な公共施設が集積立地し、防災拠点にも位置づけられる文化ゾーンへのアクセスは、幅員狭小で通行が危険な今市橋に依存しており、橋梁の架け替えを含めたネットワーク強化が急務である。また、まちなかに目立ってきている空屋についても、地域住民の交流の場としての有効活用も検討していく必要がある。

将来ビジョン(中長期)

① 第1次志賀町総合計画(平成19年3月策定)

若い世代の人口減少が顕著なことから、今後は、快適な住環境の提供や安心して子どもを産み、育てられる環境づくりや魅力ある就業の場の創出などにより、若い世代のライフスタイルに対応した生活環境の充実を図ることを最重要課題に掲げている。また、うるおいのある快適で安心な生活環境の創造に向けた施策として、若者の町内定住やU/Iターンを受け入れるための行政として可能な優遇措置の検討、良質な宅地開発などを計画的に進めるほか、空家情報の提供、公園の充実や緑化の推進、上下水道の整備、消防、防災のための施設や設備の充実強化を図るとしている。

② 志賀町都市計画マスタープラン(平成13年3月策定)

- 市街地内における既存の住宅地は、道路や下水道等の都市施設の整備により、良好な居住環境の形成に努めるとともに、バリアフリーや沿道景観等の配慮を行うことにより魅力ある市街地形成を図る。
- 市街地及び周辺に残存する農地や空地は、若者等の定住の受け皿となる宅地造成等の有効利用を図り、空き家については、積極的に転換を図る。
- 市街地内の木造住宅地の密集した地区等における防災性の向上のための避難路や避難地等の整備を図る。
- 国道249号沿線の商業施設が集積している地域については、既存商店街と連携を図りつつ、周辺住民における身近な商業地やロードサイド(沿道)型商業地として機能充実を図るとともにコミュニティ空間の創出に努める。
- 都市機能を向上させるため、道の駅的な機能を有する広域交流拠点の整備を図る。
- 文化ホールや保健福祉センター等の施設が集積する地域については、更なる機能の充実強化に努める。
- 海岸部における優れた自然環境を有する地域において、海岸線の環境の保全と活用を図る。
- 地域を形作る重要な骨格となっている河川空間の維持、保全に努める。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
					基準年度	目標年度
地区人口	人	高浜・末吉地内の居住人口(住民基本台帳)	高浜地区の定住促進(減少から増加傾向への転換)	4,057	平成16年度 (4,100 <small>(トレンド推計値3,900)</small>)	平成21年度
まち歩き者数	人/年	市街地循環コミュニティバス年間乗降客数(高浜BT)	市街地内環境改善によるまち歩きの促進(15%増加)	13,151	平成15年度	平成21年度
文化ゾーン内施設利用者	人/年	文化ホール、児童館及び図書館の年間利用者数	既存施設の活用促進(15%増加)	84,396	平成15年度	平成21年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標① 高浜地区の定住促進を図る。 【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● まちなかにおいて、主として高齢層を対象とした魅力ある優良宅地基盤を提供する。 ● 中心市街地と商業地を結ぶショッピングルート上に花のプランターを配置し、住民生活に潤いと安らぎを提供する。 ● まちなかの空屋・空地状況を調査し、まちなか居住促進に向けて土地利用更新を誘導する補助制度を検討する。 ● 高齢化社会に対応して、まちなかに高齢者福祉施設を整備する。 ● 若年層の就労環境の向上と定住促進に向けて、新しいライフスタイルに対応した定住促進住宅地を造成整備する。 <p>→ 既成市街地(高齢者層)と周辺市街地(若年層)との2輪による快適な居住環境を創出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> → 高齢者福祉住宅整備(提案事業) → 商業地内植栽(提案事業) → 空屋・空地活用調査(提案事業) → 高齢者福祉施設整備事業(関連事業) → 定住促進住宅地道路整備(基幹事業) → " 緑道整備(基幹事業) → " 排水路施設整備(提案事業) → " 調整池整備(提案事業) → " 上水道整備(提案事業)
<p>目標② 安心、快適な暮らしの基盤を整える。 【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 古くから商店街通りとして市街地発展の礎を担ってきた(町)高浜中央線について側溝改良を含めた路面の修景舗装を行う。 ● 冬期積雪時における通行確保のために市街地内の主要な通学路を中心に消雪装置を整備する。 ● 密集市街地内の空地を活用し、防災機能(耐震性貯水槽、堆雪空間等)も備えた地域住民のふれあいの場と、狭小道路も安全、安心して通行できる部分的な待避スペースや隅切りの確保を図る。 ● まち歩きを楽しめる多様なルートを設定し、バリアフリーや夜間の歩行にも配慮しつつ、舗装の工夫などによって安全な歩行空間の確保とルートの誘導を図る。 ● 市街地の骨格軸を形成する(都)福野・神代線の整備促進を図る。 ● 定住促進住宅地に隣接して、通常は近隣住民の憩いの場、有事の際には防災拠点としての機能を有する公園を整備する。 ● 定住促進住宅地に隣接して、地域の広域的な消防・防災機能を担う消防署及び訓練棟を建設する。 ● 消防署及び防災公園と一体的に町民の防災意識向上と交流促進を目的とした地域交流センターならびに地域防災施設を整備する。 ● 定住促進住宅地と高浜市街地とを連絡する町道を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> → (町)高浜中央線の舗装修景整備(基幹事業) → (都)福野・神代線、(都)大島・今市線、(都)福野・川尻橋線、(町)高浜本線 他、(町)駅前安誓寺線の消雪整備(基幹事業) → たまり場及び待避地の整備、耐震性貯水槽整備(基幹事業) → ウォーキングルート整備(基幹事業) → (都)福野・神代線の整備(基幹事業) → 防災公園整備(基幹事業) → 志賀消防署建設(関連事業)、訓練棟整備(提案事業) → 地域交流センター整備(基幹事業) → 耐震性貯水槽、備蓄倉庫、非常用電源施設の整備(基幹事業) → (町)末吉西山線の整備(基幹事業)
<p>目標③ 既存施設の活用促進に努める。 【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中心市街地と文化ゾーンとを直結する都市計画道路 福野神代線(今市橋)等を整備する。 ● 地域住民の憩いの場である柴木総合公園内のトイレ及び園路施設、センターサークルの他、周辺緑地等を整備充実する。 ● まち歩きコースや公共施設の目印となる案内板を適所に配置整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> → (都)福野・神代線(今市橋)、(町)末吉暇線の整備(基幹事業) → 柴木総合公園内及び周辺整備(基幹事業) → 柴木総合公園内センターサークル整備(基幹事業) → 案内板整備(基幹事業)
<p>その他</p> <p>【区域設定について】 志賀町では「中心市街地活性化基本計画」を策定していないものの、現在策定中の「新町まちづくり計画」の趣旨に基づく「中心的市街地」の役割をはたすエリアとして、高浜町のなかでも国道249号線と主要県道、河川、海岸等に囲まれた一団の地区を位置づけ、区域を設定したものである。当該区域は公共施設が集約し、整備済、もしくは整備中の都市計画道路が縦横に横断していることから、既設の狭小道路とこれらの基幹道路がいかに連携し機能するかが、課題となっている。</p> <p>【まちづくり協議会の開催経緯】 第1回協議会 平成16年1月8日 まちづくり事業制度、高浜地区の現況・課題 などについて 第2回協議会 平成16年2月13日 まちづくり方針及び事例 などについて 第3回協議会 平成16年3月19日 まちづくり事業内容 などについて</p> <p>【定住促進に向けた子育て支援に対する取り組みについて】 志賀町では「しか子ども夢プラン」(子育ての夢がふくらむ志賀の郷)を策定し、少子高齢化の対応に取り組んでおり、アンケート調査から住民意見を収集し、今年度文化ゾーンにオープンした児童館や放課後児童クラブの施設整備、小児科をもつ病院の建設等を進めてきた。またソフト面では、延長保育や各種助成制度のほか、子育てに関する相談窓口や援助体制、男女協同参画の意識づくり等住民のニーズに即したサービスの展開を実施している。</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	2,258	交付限度額	920	国費率	0.407
---------	-------	-------	-----	-----	-------

(金額の単位は百万円)

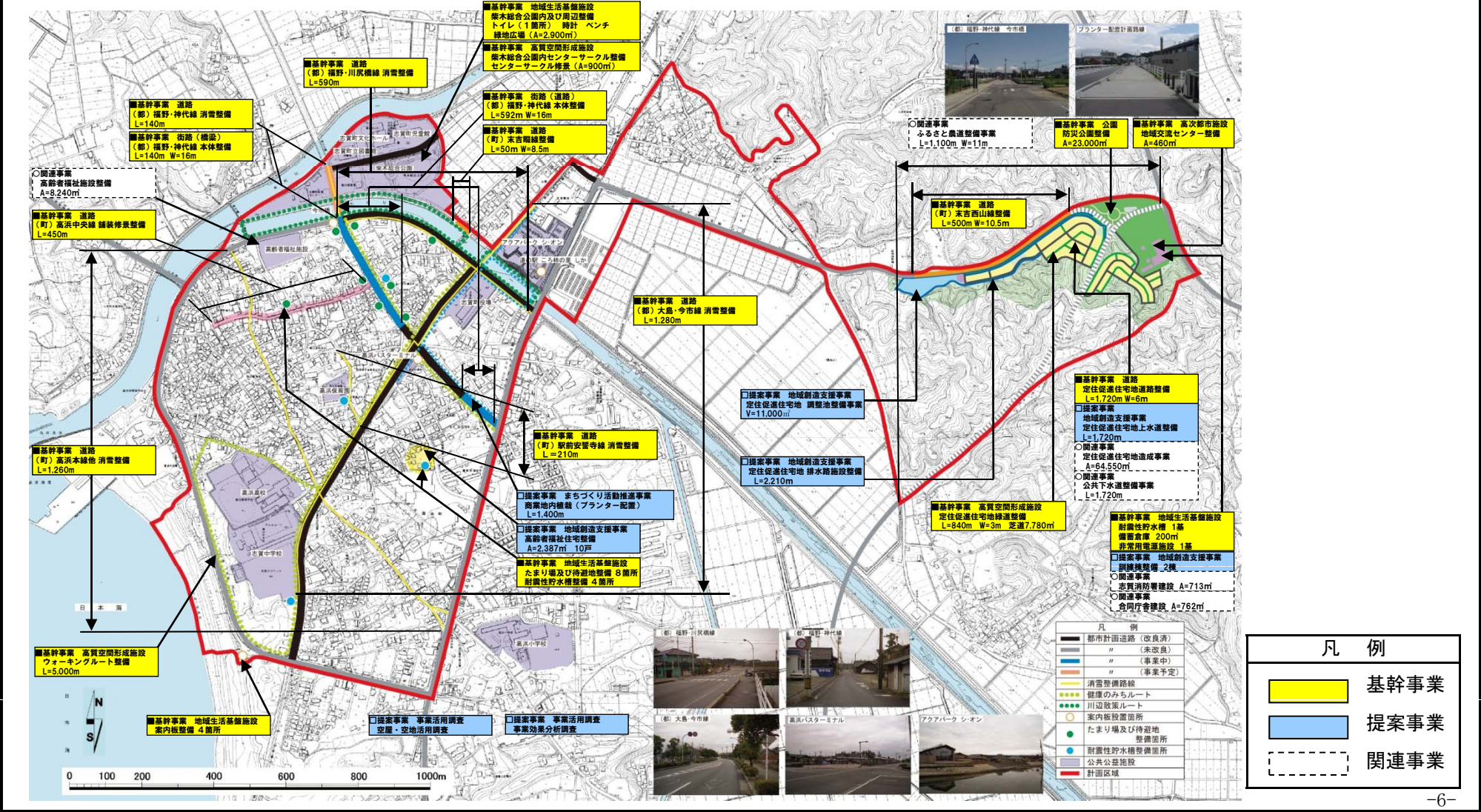
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路	街路(橋梁)	(都)福野・神代線	志賀町	直	L=140m、W=16m	平成17年度	平成21年度	平成17年度	平成21年度	640	640	640		640
	街路(道路)	(都)福野・神代線	志賀町	直	L=592m、W=16m	平成12年度	平成19年度	平成18年度	平成19年度	1,521	134	134		134
	地方道(舗装修景)	(町)高浜中央線	志賀町	直	L=450m、W=6m	平成17年度	平成19年度	平成17年度	平成19年度	46	46	46		46
	地方道(消雪)	(都)福野・神代線	志賀町	直	L=140m	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	14	14	14		14
	地方道(消雪)	(都)大島・今市線	志賀町	直	L=1,280m	平成18年度	平成20年度	平成18年度	平成20年度	62	62	62		62
	地方道(消雪)	(都)福野・川尻橋線	志賀町	直	L=590m	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	31	31	31		31
	地方道(消雪)	(町)高浜本線 他	志賀町	直	L=1,260m	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	37	37	37		37
	地方道(消雪)	(町)駅前安誓寺線	志賀町	直	L=210m	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	7	7	7		7
	地方道	(町)末吉畷線	志賀町	直	L=50m、W=8.5m	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	27	27	27		27
	地方道	定住促進住宅地道路	志賀町	直	L=1,720m、W=6m	平成19年度	平成21年度	平成19年度	平成21年度	154	154	154		154
	地方道	(町)末吉西山線	志賀町	直	L=500m、W=10.5m	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	26	26	26		26
公園		防災公園	志賀町	直	A=23,000㎡	平成19年度	平成21年度	平成19年度	平成21年度	151	151	151		151
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		—	志賀町	直	—	平成18年度	平成21年度	平成18年度	平成21年度	158	158	158		158
高質空間形成施設		—	志賀町	直	—	平成19年度	平成21年度	平成19年度	平成21年度	206	206	206		206
高次都市施設	地域交流センター	—	志賀町	直	—	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	111	111	111		111
既存建造物活用事業		—			—									
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										3,191	1,804	1,804	0	1,804

提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
地域創造 支援事業	排水路施設整備	定住促進住宅地内	志賀町	直	L=2,210m	平成19年度	平成21年度	平成19年度	平成21年度	143	143	143	143	
	調整池整備	定住促進住宅地内	志賀町	直	V=11,000m ³	平成19年度	平成21年度	平成19年度	平成21年度	83	83	83	83	
	上水道整備	定住促進住宅地内	志賀町	直	L=1,720m	平成19年度	平成21年度	平成19年度	平成21年度	41	41	41	41	
	高齢者福祉住宅整備	高浜地内	志賀町	直	A=2,387m ² 10戸	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	107	107	107	107	
事業活用調査	訓練棟整備	定住促進住宅地内	志賀町	直	2棟	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	64	64	64	64	
	空屋・空地活用調査	高浜地内	志賀町	直	—	平成18年度	平成18年度	平成18年度	平成18年度	3	3	3	3	
まちづくり活動推進事業	事業効果分析調査	—	志賀町	直	—	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	3	3	3	3	
	商業地内植栽	高浜地内	志賀町	直	L=1,400m(15m間)	平成18年度	平成18年度	平成18年度	平成18年度	10	10	10	10	
合計										454	454	454	0	454
												合計(A+B)	2,258	

(参考)関連事業											
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
高齢者福祉施設整備事業	高浜地内	志賀町	厚生労働省	A=8,240m ²			○		平成16年度	平成20年度	1,082
ふるさと農道整備事業	末吉地内	石川県	農林水産省	L=1,100m W=11m			○		平成15年度	平成19年度	544
定住促進住宅地造成事業	末吉地内	志賀町	国土交通省	A=64,550m ²			○		平成19年度	平成21年度	168
公共下水道整備事業	定住促進住宅地内	志賀町	国土交通省	L=1,720m		○			平成20年度	平成21年度	90
志賀消防署建設	定住促進住宅地内	志賀町	総務省	A=713m ²			○		平成20年度	平成21年度	179
合同庁舎建設	定住促進住宅地内	志賀町	総務省	A=762m ²			○		平成21年度	平成21年度	202
合計											2,265

たかはま し かまち
高浜地区(石川県志賀町) 整備方針概要図

目標	既存の幹線道路や公共施設を有効に活かしながら、安心、快適に暮らすことができる居住環境を整え、定住が促進される市街地の再生を目指す。	代表的な指標	地区人口 (人)	4,057 (H16年度) →	4,100 (H21年度)
			まち歩き者数 (人/年)	13,151 (H15年度) →	15,000 (H21年度)
			文化ゾーン内施設利用者 (人/年)	84,396 (H15年度) →	97,000 (H21年度)



	基幹事業
	提案事業
	関連事業